

別紙

産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

喜茂別町地域農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B+C)								活用予定額 (a+b+c)				
	産地戦略枠 (A=F+H)	従来枠 (B=G+I)	追加配分枠 (C)	(内 訳)				産地戦略枠 (a)	従来枠 (b)	追加配分枠 (c)			
				1回目の配分 (D=F+G)		2回目の配分 (E=H+I)							
				産地戦略枠 (F)	従来枠 (G)	産地戦略枠 (H)	従来枠 (I)						
喜茂別町地域農業再生協議会	392,000	196,000	196,000	0	392,000	196,000	196,000	0	記載不要	391,993	391,993	0	0

(注) 2回目の配分、追加配分枠が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

残額	合計		
	産地戦略枠	従来枠	追加配分枠
7	-195,993	196,000	0

(1) - ②従来枠の活用分

配分枠

196,000円

前年度との比較 ※1	整理番号	用途 ※2	取組番号 ※3	作期等 ※4	単価④ (円/10a) ※5	面積 (a単位)																	合計 ⑤ ※7	所要額 ④×⑤ (円)			
						戦略作物							その他														
						麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀	地力増進	景観形成	備蓄米	てん菜			ばれい しよ(でん 粉原料 用)	小豆	菜豆
																								0	0		
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
																									0	0	
合計(基幹)※6					実面積																				0	⑥※8	
合計(二毛作)※6					実面積																					0	0

残額 196,000

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。
 ※2 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
 なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
 ※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合の記入は不要です)。
 ※4 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
 ※5 2回目配分を受けた場合に初めて単価を設定する用途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。
 ※6 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
 ※7 ⑤の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
 ※8 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
 (注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 2回目の配分を受けた場合の調整方法

(2回目の配分を受け、当初単価から上限単価に単価調整する際のことを記載)

個票で定める上限単価を上限に上乗せする。

5. 主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回った面積に相当する追加配分を受けた場合の調整方法

(市町村別生産数量目標の算定方法見直しにより生じた削減面積に応じた配分を受ける協議会のみ設定)

活用しない。

6. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

(昨年のおり)

産地戦略枠については、他枠を活用し、不足する場合は単価調整する。

調整後単価 = 調整前単価 × 地域配分全額 ÷ 枠所要額

調整後の単価はすべて円単位とし、円単位以下は切捨てる。

新規		前年度継続(変更あり)	○	前年度継続		助成開始年度	H27
----	--	-------------	---	-------	--	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	喜茂別町地域農業再生協議会		整理番号	1	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
用途	地域振興作物助成(産地戦略枠)				
対象作物	馬鈴薯、加工用スイートコーン、加工用南瓜、ブロッコリー				
単価	9,655円/10a以内 (12,068円/10a以内)		参考となる単価※3	14,853円/10a以内	
内容	湿害対策(心土破碎等)を実施することにより、収量・品質の安定向上を図る取り組みを実施する、馬鈴薯、馬鈴薯、加工用スイートコーン、加工用南瓜、ブロッコリーについて地域の産地戦略枠として設定し、作付拡大を図る。				
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者:助成対象作物を作付した農業者 ○ 出荷販売実績を確認できるもの ○ 対象農地:水田 ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・実需要者等へ出荷販売を行う。 ・作付から販売に至るまで一定期間を要する作物については、JA等が示す指針に沿い管理した場合、出荷・販売を目的とした作付したものとみなし、交付の対象とする。 ・営農計画書には具体的な品目を記入すること。 ・1筆の圃場に複数の作物を作付する場合、営農計画書に作物毎の面積を記載すること。 ・心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工) 				
確認方法	助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物:営農計画書、交付申請書、現地確認・出荷販売伝票				
備考	地域振興作物の作付強化を図るため助成を行う。				

※1 「活用枠」欄は該当する項目の口に✓(チェック)を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2(5)のA、イ、ウのいずれに該当するか口に✓(チェック)を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。